（1）　平成22年5月6日第二種郵便物認可　©鉄鋼新聞社 2010

12月10日
2010年
（平成22年）
金曜日
第17265号（日刊）
土、日曜・祝日休刊

Metal & Technology
鉄鋼新聞

大径中径鋼管　丸八鋼管KK

発行所　鉄鋼新聞社
http://www.japanmetaldaily.com
Eメール：info@japanmetaldaily.com

縞鋼板専門
定尺・寸法切・曲加工
カラー縞鋼板・ホワイト縞鋼板・定尺在庫
耐候性鋼板・エキスパンドメタル
株式会社 丸和

特殊粒子測定システム好評

新日鉄と共同開発

品質管理を高速・平準化

イノテック

画像処理システムソフト開発のイノテック（本社・広島市中区大手町、社長・伊藤賢治氏＝写真）と新日本製鉄技術開発本部と2年前に共同開発した「特殊粒子セミオート測定システム」が好評を博している。

ベテラン技術者に頼ってきた品質管理の一部を画像処理による支援システムに置き換えることで、作業平準化とともに品質測定時間を大幅短縮化した。

新測定システムは、鉄の断面（150ミリ×600ミリ角）をデジタル化してコンピュータに取り込み、金属特有の湯の流れで生じる特殊な粒子を測定・解析する仕組み。

従来は1サンプルごとに1チェック角・900カ所の測定を熟練技術者の目視などに頼ってきたが、システム導入により同じ作業内容が3倍の速さでの処理が可能となった。

測定データの結果はグラフで示すなど定量化され、品質合否を簡易化することで次工程に送れるかの判断が熟練者以外でもこなせ、後継者への引き継ぎも容易とした。

イノテックは産業・医療分野の画像処理ソフトを得意とするベンチャー企業。今月2日には、マイクロソフトから優れたITソリューション開発の評価を受け、年次式典で最優秀企業の表彰を受けている。

鉄鋼関係ではこれまで、金属組織解析システムの開発・納入実績があり、団塊世代が定年を迎える07年問題に直面していた新日鉄から、3年前にシステム開発の依頼を受けた。匠の技を作業従事者から聞き取り、約1年の開発期間を経て、08年9月に第1号機を名古屋製鉄所に納入した。

同システムは、国内の他製鉄所への導入も予定される。